

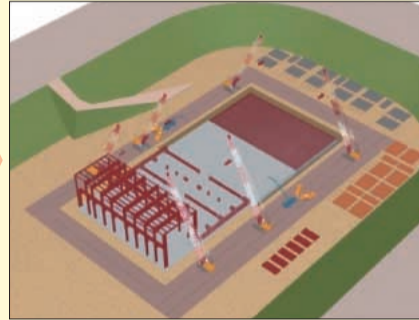
News Flash

貯蔵建屋工事の進捗状況<11月24日現在 進捗率:79%>

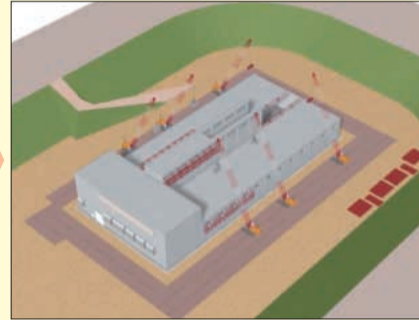
一貯蔵建屋工事の進め方一



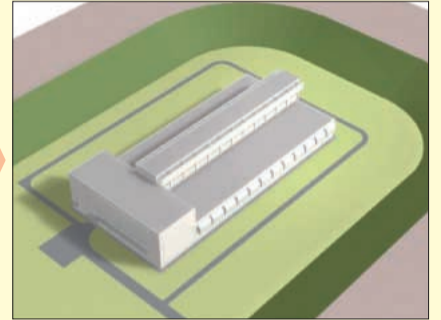
①平成22年冬頃
杭工事は約4ヶ月で完了しました。また、杭工事が完了したエリアから基礎版工事を開始し、冬季もシート、テント等で養生を行い、工事を進めました。



②平成24年春頃
基礎版工事は約6ヶ月で完了しました。また、基礎版工事が完了した一部のエリアで、鉄骨柱・梁の組み立てを行い、上屋工事が本格化しました。



③平成24年冬頃
上屋工事も中盤に入り、貯蔵建屋の外形が出来上がっていきます。外壁には、仕上げとして塗装を行っていきます。



④完成予想図
上屋工事は約17ヶ月程で完了します。最終的に国の検査に合格した後、事業を開始します。

平成23年3月11日の震災以降、貯蔵建屋工事を休止しておりましたが、本年3月16日から工事を再開し、順調に工事を進めております。

11月24日現在の進捗率は79%となっており、建物の外観が分かるようになってきました。

今後は、貯蔵建屋の屋根工事を継続して行なうとともに建屋内部の機器の据付工事を進め、その後、外装の工事に取り組む予定です。

平成25年10月の事業開始に向けて、今後も安心安全を第一に工事に取り組んでまいります。

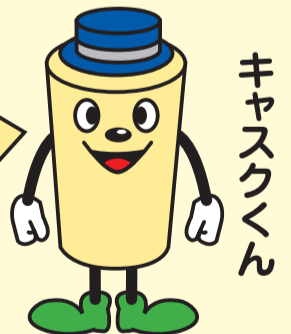


貯蔵建屋建設状況(平成24年11月)



リサイクル燃料備蓄センター完成イメージ図

今後も広報誌RENでは貯蔵建屋の進捗状況を随時お知らせしてまいります。



キャスクくん

RFSモニターの皆様に乾式キャスク貯蔵施設(東海第二原子力発電所敷地内)をご見学いただきました

弊社では、平成18年度より、「リサイクル燃料備蓄センター」に対する理解を深めていただくとともに、市民の皆さまからご意見・ご要望をいただき、今後の参考とするため、RFSモニターを募集し、原子力関連施設の見学や意見交換会などを実施しております。

今回は、平成24年度モニターの皆さまが、日本原子力発電(株)の東海第二原子力発電所敷地内にある使用済燃料乾式キャスク貯蔵建屋をご見学いただきました。

当日は、東海テラパークスタッフのご説明を受けながら、キャスク等についての理解を深めていただくことができました。



東海テラパークスタッフからの概要説明の様子



PR施設でのご見学の様子